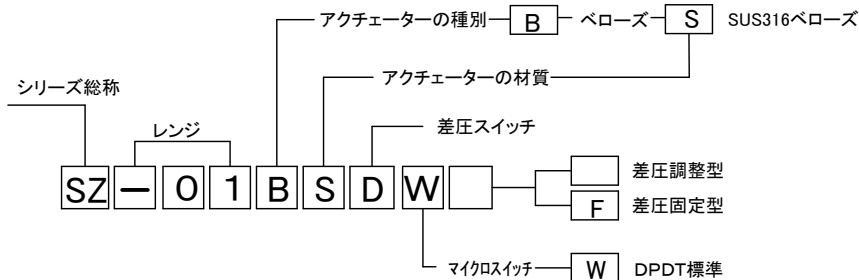


(1) 型式・仕様の確認

SZ真空差圧スイッチの型式は下表に従って表示されています。型式および仕様の確認をして下さい。



圧力単位	kPa	mmHg
レンジ	-2.7~-100	-20~-760
接断差	-3.3~-15	-25~-112
差圧調整範囲	0~-40	0~-300
定格圧力	-100	-760
耐圧	150kPa	

SZ真空差圧スイッチでは、高真空側受圧部と低真空側受圧部の圧力差(HIGH - LOW ≤ 0)を差圧として表示して、差圧調整範囲は圧力差が少なくなる時の動作圧力で表示しています。

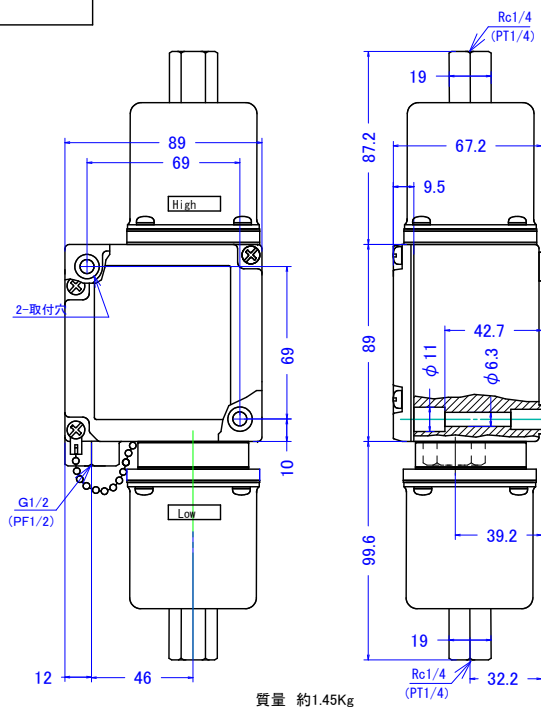
接断差はマイクロスイッチがON、OFFする圧力差です。

(2) 取付

SZ圧力スイッチは、本体を2ヶ所の取付穴で固定してください。圧力配管のみで支持することはできません。

(3) 配管

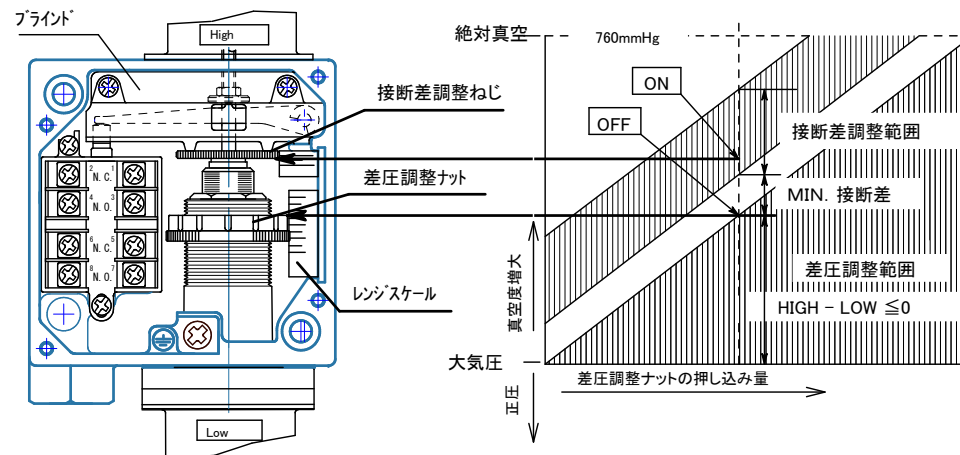
SZ圧力スイッチの圧力配管ポートはRc1/4(PT1/4)です。配管をする場合は、受圧部の六角部にスパナ掛けをして、圧力スイッチの本体に力が加わらないようにしてください。



(4) 設定

SZ真空差圧スイッチはすべて一定圧力に設定されて出荷されています。その設定圧力は本体側面の設定ラベルに表示してあります。要求設定値と異なる場合は次のように再設定してください。

低真空側受圧部はLOWと、高真空側受圧部にはHIGHと表示してあります。常にHIGH-LOW ≤ 0である必要があります。



高真空側と低真空側の圧力差が縮小するときの動作圧力(OFF)は、差圧調整ナットで設定します。

両者の圧力差が増大するときの動作圧力(ON)を接断差調整ねじで調整します。この時、差圧調整ナットで設定した圧力差縮小時の動作圧力は影響されません。

- 高真空側と低真空側の圧力差が縮小するときの動作圧力(OFF)を差圧調整ナットで設定します。差圧調整ナットの上面が指示するレンジスケールの値が目安となります。正確な設定は圧力計で行ってください。

差圧調整ナットは、スロットにマイナスドライバーを差し込んで回します。スロットの幅に合ったマイナスドライバーを使用しないとスロットを壊すこととなりますので十分ご注意ください。

差圧調整ナットは、板バネでセルフロックされていますので、低圧設定においても緩みません。

- 高真空側と低真空側の圧力差が増大するときの動作圧力(ON)を接断差調整ねじで設定します。接断差調整ねじは指で回します。板バネでロックされていますから緩むことはありません。接断差調整ねじは、過度に緩めて外れないようブラインドのつめがストッパーになっています。接断差を最小で使用になる場合は、差圧調整ねじの上面がブラインドの爪に少し当たっている状態にセットしてご使用ください。

ブラインドは絶対に外さないでください

- 接断差固定型(型式記号:F)

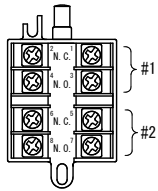
接断差固定型は、接断差の調整できません。上、下限動作値のどちらか基準になる方を差圧調整ナットで設定します。

調整に当たって、差圧調整ナットと接断差調整ねじ以外は触れないで下さい。

(5) 配線

BL-119-03
Rev. G
page 3

DPDTマイクロスイッチの接点構成は下図のようにマイクロスイッチに表示されています。



配線用特殊圧着端子”ニチフFT-1-3”8ヶを付属品として同封しています。
圧着工具は下記のものをお使いください。
ニチフ NH-20(旗型圧着端子用)
#1と#2は電氣的に完全に独立していますが、1a:1bまたは2a:2bの同列側は同相に配線してください。

型式の末尾に-X25,-X27,-X28の付くタイプは同封の配線方法により配線してください。



必ずアース端子を接地してご使用ください。
感電する危険があります。

(6) マイクロスイッチの電気定格

DPDT標準容量

接点構成 DPDT	電圧 V	銘板上の容量表示 ELECTRICAL CONTACT RATINGS				接点構成 -X25 -X27 -X28
		抵抗負荷 N.C./N.O.	ランプ負荷 N.C./N.O.	誘導負荷 N.C./N.O.	電動機負荷 N.C./N.O.	
	AC 125	5A	2A	4A	3A	右側コモンを形成してあります。
	250	3	1	2	1.5	
	480	1.5	0.5	1	0.8	
	600	1	0.4	0.7	0.5	
	DC 8	-	-	-	-	
	14	5	2	4	3	
	30	3.4	1	2	1.5	
	125	0.4	0.1	0.4	0.1	
	250	0.2	0.05	0.2	0.05	

(7) 使用条件・その他の性能

BL-119-03
Rev. G
page 4

使用周囲温度: -20~+80°C(ただし氷結しないこと。)
接液部許容温度: SUS316ステンレスペローズ: -40~+250°C(ただし氷結しないこと。)
ただし、長時間の使用でスイッチメカニズムの温度が、使用周囲温度を超えないこと。
許容動作頻度: 120回/分
絶縁抵抗: 非連続端子間および各端子と非充電金属部間
100M以上(DC500Cメガーにて)
耐電圧: 非連続端子間 AC1000V 50/60Hz 1分間
各端子と非充電金属部間、アース間 AC2200V 50/60Hz 1分間
受圧部オリフィス: ペローズアクチュエーター: 1.5φ
保護等級: IP65

太平貿易株式会社

本社: 〒103-0023東京都中央区日本橋本町2-2-2
TEL03-3270-4821 FAX03-3245-1767
名古屋支店: 〒460-0008名古屋市中区栄4-15-32 日建・住生ビル
TEL052-261-5571 FAX052-261-2017
大阪支店: 〒530-0037大阪市北区松ヶ枝町1-3 サンセンタービル
TEL06-6355-2701 FAX06-6355-2706
福山営業所: 〒720-0067福山市西町2-10-1 福山商工会議所ビル
TEL084-925-3067 FAX084-931-9331
九州営業所: 〒802-0005北九州市小倉北区堺町1-1-1JT小倉ビル
TEL093-511-2802 FAX093-511-5904

製造 太平システム工業株式会社